

川口市立高等学校図書委員会
ライブラリーニュース NO.4 2026年1月号

担当 1年 森田

あけましておめでとうございます！

今年も素敵な作品たちに出会えますように……

さて、1月号は年の初めに読みたい「ミステリー」を集めました。
温かい飲み物と一緒に楽しみたい作品ばかり！

気になる作品を見つけてみてくださいね

「むかしむかしあるところに、死体がありました。

著/青柳碧人(双葉社)」

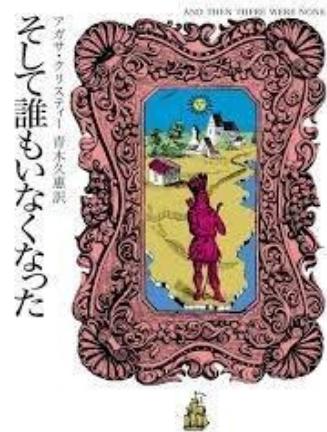
皆さんも一度は耳にしたことがあるであろう、
一寸法師やももたろうなどの昔話。
そんな昔話がまさかのミステリーと融合!
ハッピーエンドで終わるはずの昔話の裏側で起こっていた
出来事とは……?
一度読みだせば止まらない!
本格ミステリーをどうぞお楽しみください!!



「そして誰もいなくなった

著/アガサ・クリスティー 訳/青木久恵(早川書房)」

孤島に集められた、互いに面識のない10人の男女。
彼らはそれぞれ「過去に罪を犯した」という共通点を持っていた。
島に到着した直後から、不気味な童謡になぞらえるかのように、
ひとり、またひとりと命を落していく。外部と連絡は取れず、
犯人は島の中にいるはずだが、人数は減り続け、
ついには——。
追い詰められていく人々の心理が剥き出しになっていく、
本格ミステリーの不朽の名作。



「N 著/道尾秀介(集英社)」



6つの短編ミステリー“どの順番で読んでもいい”という
これまでになかったミステリー小説。
SNSで話題になっており、知っている方も多いかも。
物語のかたちは $6!=720$ 通りも! 順番を変えて何度も読むのも、
家族や友達などと読了後に感想を交換するのも楽しみ方のひとつ。

※表紙画像は出版社の許可を得て掲載しています。

コラム：ミステリーはサスペンス？

ミステリーとサスペンス。

2つの言葉の違い、いざ考えると説明するのが難しいような……？

ミステリー…謎を解き、犯人を捜し出す「論理的」が軸。

サスペンス…犯人が分かっている中で、どう追い詰めていくか。「心理的」が軸。